

# オホーツクの農業

—AGRICULTURE—

オホーツク地域は、小麦やてん菜、馬鈴しょを主体とする畑作やたまねぎ、酪農・畜産など広大な土地資源を活かした農業が展開されています。

農業産出額は、十勝に次いで道内2位の規模となっており、食料供給地域として重要な役割を担っています。

また、気象や土地条件などの違いにより、斜網、北見、東紋、西紋の4地域に大別され、それぞれの条件を活かし、地域ごとに特色のある農業が営まれています。

農家戸数の減少や高齢化が進行する中、低コスト・省力化生産や農畜産物の付加価値向上、地産地消の拡大に向けた取組が広く行われています。



小麦の生育風景

## ■本道農業に占める管内農業の割合

区分	単位	オホーツク	北海道	対全道比率
農家戸数	戸	3,958	37,594	10.5%
販売農家	戸	3,632	32,232	11.3%
自給的農家	戸	326	5,362	6.1%
耕地面積	ha	165,390	1,141,000	14.5%
田	ha	1,614	221,600	0.7%
畑	ha	163,950	919,900	17.8%
戸当たり耕地面積(参考)	ha	41.8	30.4	137.7%
作付面積				
水稲	ha	726	93,600	0.8%
小麦	ha	28,753	126,100	22.8%
馬鈴しょ	ha	15,236	46,926	32.5%
てん菜	ha	22,877	57,700	39.6%
大豆	ha	3,062	42,000	7.3%
たまねぎ	ha	7,997	14,102	56.7%
収穫量				
水稲	t	4,027	553,200	0.7%
小麦	t	188,020	728,400	25.8%
馬鈴しょ	t	593,281	1,681,057	35.3%
てん菜	t	1,586,620	4,061,000	39.1%
大豆	t	7,385	105,400	7.0%
たまねぎ	t	370,490	646,615	57.3%
飼養頭数				
乳用牛(1戸当たり)	頭	116,996	829,900	14.1%
肉用牛(1戸当たり)	頭	148.3	145.3	102.1%
豚(1戸当たり)	頭	66,322	536,200	12.4%
鶏(1戸当たり)	頭	219.6	236.2	93.0%
採卵鶏	頭	37,806	450,878	8.4%
探卵鶏	頭	2,100.3	2,221.1	94.6%
採卵鶏	千羽	271	6,679	4.1%
生乳生産量	t	623,648	4,265,600	14.6%

(農林水産省「農林水産統計(令和3年、令和4年)」、「2020年農林業センサス」及び「オホーツク総合振興局調」)

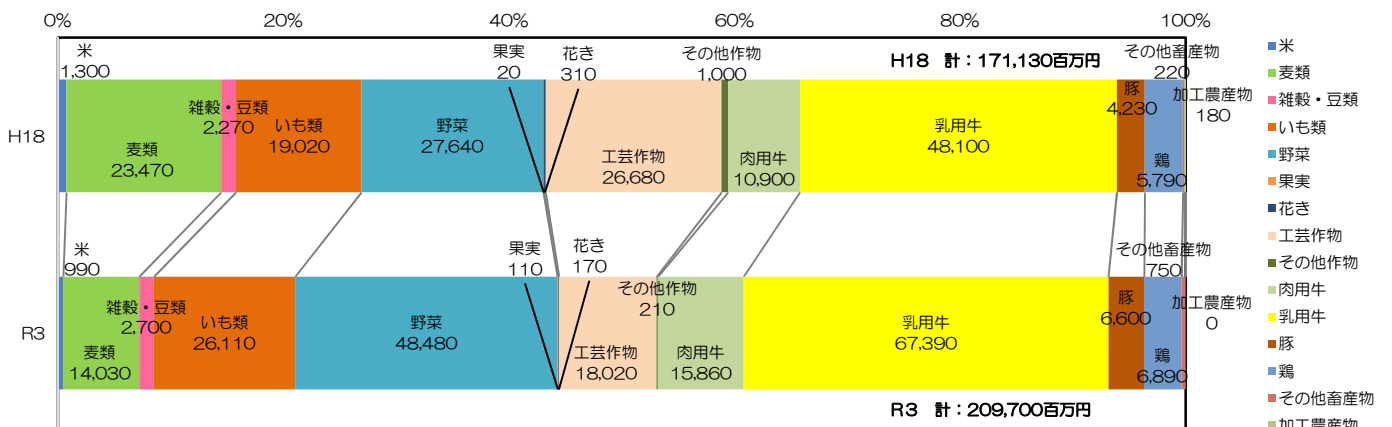
## ■地域別農業の特色

区分	管内計	斜網地区	北見地区	東紋地区	西紋地区
農家戸数(戸)	3,958	1,957	1,220	527	254
耕地面積(ha)	165,390	73,920	35,550	25,880	30,040
1戸当たり耕地面積(ha)	41.8	37.8	29.1	49.1	118.3
農業産出額(百万円)	209,700	100,770	49,840	34,040	25,050
うち耕種(百万円)	111,380	67,070	37,630	5,770	910
うち畜産(百万円)	98,350	33,700	12,230	28,270	24,150
1戸当たり農業産出額(千円)	52,981	51,492	40,852	64,592	98,622
10a当たり農業産出額(千円)	127	136	140	132	83

資料：農林水産省「2020農林業センサス」・「農林水産統計」  
 注1) 農家戸数は「2020年農林業センサス」  
 耕地面積は農林水産省「農林水産統計(令和4年市町村別耕地面積)」  
 農業産出額は「令和3年市町村別農業産出額(推計)」  
 1戸当たり耕地面積及び農業産出額、10a当たり農業産出額は上記資料より参考値として算出

斜網地域 (網走市・大空町・美幌町・津別町・斜里町・清里町・小清水町)	てん菜・馬鈴しょ・麦類を中心に機械化された大規模な畑作農業を展開する地域であり、斜網地域だけで管内農業産出額の耕種部門の60%を占めます。
北見地域 (北見市・訓子府町・置戸町)	たまねぎ等の野菜を基幹として、水稲・酪農などの生産性の高い農業を展開する地域で、特にたまねぎは全道収穫量の40%を占める大産地です。1戸当たり耕地面積は29.1haと狭いものの、10a当たり農業産出額では140千円と管内トップです。
東紋地域 (佐呂間町・湧別町・遠軽町)	酪農を基幹として、たまねぎ・かぼちゃ・ブロッコリー・アスパラガス等の野菜や青しそ等の特用作物などに取り組み、工夫をこらした農業を展開する地域です。1戸当たり耕地面積は49.1haと酪農地帯としては狭いですが、1戸当たり農業産出額は約6千5百万円と管内平均を上回ります。
西紋地域 (紋別市・滝上町・興部町・西興部村・雄武町)	草地等の土地基盤を活用した大規模な酪農を展開しており、1戸当たり耕地面積は118.3haと管内では最も大きい地域です。農業産出額に占める畜産の割合は96%で、1戸当たり農業産出額は約9千9百万円と管内平均を大きく上回ります。

## ■作物別農業産出額の推移



(農林水産省「平成18年生産農業所得推計」・「令和3年市町村別農業産出額(推計)」)

# オホーツクの林業

—FORESTRY—

管内の森林面積は、769千haで全道森林面積の14%を占め、道内の主要な木材生産地となっています。

所管別では国有林56%、道有林14%、一般民有林30%となっており、国有林、道有林は天然林の割合が高く、一般民有林は人工林の割合が高くなっています。

近年、一般民有林のカラマツ人工林を中心として資源が成熟してきており、道産材に対する需要が高まっています。森林の伐採が進む一方で、造林されずに放置される伐採跡地が増加し、大きな課題となっていることから、充実した人工林の適正な資源管理や環境に配慮した森林施業を推進しています。

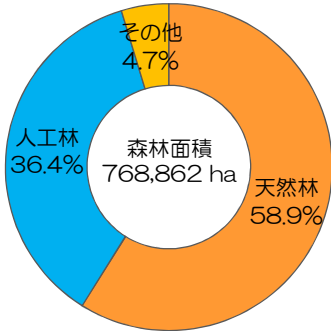
木材の加工を担う木材産業は、製材工場をはじめ集成材工場、道内有数の合单板工場などが立地しており、豊かな森林資源を背景として地域経済の発展を支えています。

また、管内では森林認証を他地域に先がけて取得しており、管内森林面積に占める認証森林の割合は、83%にも及んでいます。環境に優しい持続可能な森林経営を通して、林業の活性化や地域ブランドの確立が期待されています。



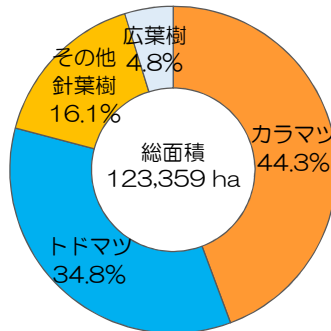
カラマツ人工林（手前）とトドマツ人工林（奥）  
（遠軽町）

## ■形態別森林面積



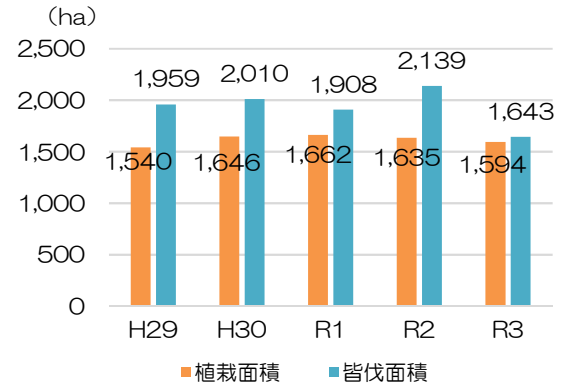
（令和3年度北海道林業統計）

## ■一般民有林人工林の樹種別面積比率



（オホーツク総合振興局林務課調）

## ■管内一般民有林の造林・皆伐面積



（令和3年度北海道林業統計）

## ■全道林業に占める管内林業の割合

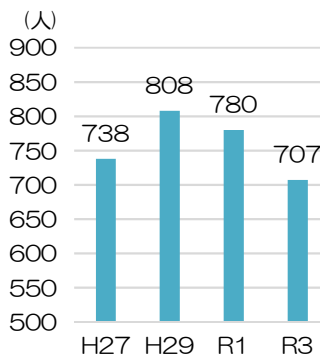
区分	管内	全道	対全道比
森林面積 (ha)	768,862	5,535,121	13.9 %
国有林	430,456	3,063,672	14.1 %
道有林	108,128	608,000	17.8 %
一般民有林	230,277	1,863,449	12.4 %
森林蓄積量(千m³)	152,713	853,165	17.9 %
針葉樹	97,647	446,972	21.8 %
広葉樹	55,066	406,192	13.6 %
造林面積 (ha)	1,980	8,417	23.5 %
林産物生産量			%
素材(千m³)	918	4,580	20.0 %
製材(千m³)	192	770	24.9 %
合板(千m³)	48,311	55,142	87.6 %
単板(千m³)	107,864	111,436	96.8 %
チップ(千m³)	242	1,360	17.8 %
集成材(千m³)	10	31	32.3 %

（令和3年度北海道林業統計 林産物生産素材管内分はオホーツク総合振興局林務課調）

（注）国有林には林野庁所管以外も含む。造林面積には、天然更新を含む。

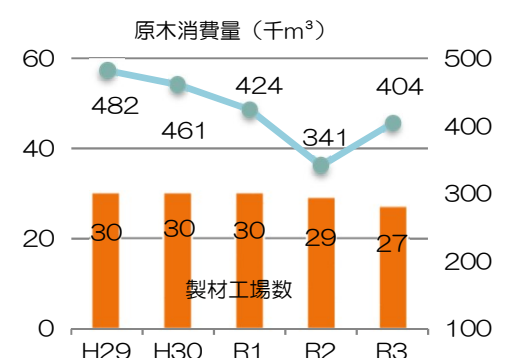
※合板は4mm換算、単板は1mm換算

## ■管内林業労働者数



（令和3年度林業労働実態調査）

## ■管内製材工場数及び原木消費量



（オホーツク総合振興局林務課調）

## ■一般民有林の森林資源の推移

年度	総数		人工林		天然林		無立木地面積 (ha)
	面積 (ha)	蓄積 (千m³)	面積 (ha)	蓄積 (千m³)	面積 (ha)	蓄積 (千m³)	
H26	231,316	41,914	125,403	28,144	96,264	13,770	9,649
H28	230,780	42,205	124,328	28,229	96,575	13,976	9,878
H30	230,645	42,660	124,089	28,414	97,590	14,246	8,966
R2	230,311	43,900	123,581	29,062	97,713	14,838	9,017
R3	230,277	44,748	123,359	29,996	97,642	14,752	9,276

令和3年度北海道林業統計（蓄積分はオホーツク総合振興局林務課調）

# オホーツクの水産業

—FISHERY—

管内の水産業は、オホーツク海沿岸海域を漁場とするほたてがい桁網漁業やさけ定置網漁業、沖合海域を漁場とする沖合底引き網漁業を中心に営まれています。

令和3年の振興局別の漁業生産は数量・金額ともに当管内が全道一で、数量で28万9千トン、金額で675億円となっています。

北海道のほたてがい漁業は、持続可能な漁業で獲られた水産物であることを証明する国際認証である「MSC認証」を取得しているほか、管内の海域はホタテガイのEU向け輸出生産海域として指定を受けるなど、国際的な競争力の強化を図っています。

また、秋サケについても、管内ではEU輸出に向けた出荷体制の整備が進められるなど、国内流通のみならず、海外への輸出促進が図られています。



秋サケの陸揚風景（斜里漁港）

## ■管内の漁業生産（令和3年）

区分		ホタテガイ	サケ	スケトウダラ	タラ	マス	その他	合計
管内	漁獲量 (t)	198,200	25,608	40,679	6,267	746	17,508	289,008
	漁獲高 (百万円)	36,585	22,102	1,502	937	368	6,028	67,522
全道	漁獲量 (t)	443,079	53,651	162,085	44,339	2,898	470,846	1,176,898
	漁獲高 (百万円)	91,407	45,639	8,371	8,015	1,191	104,010	258,633

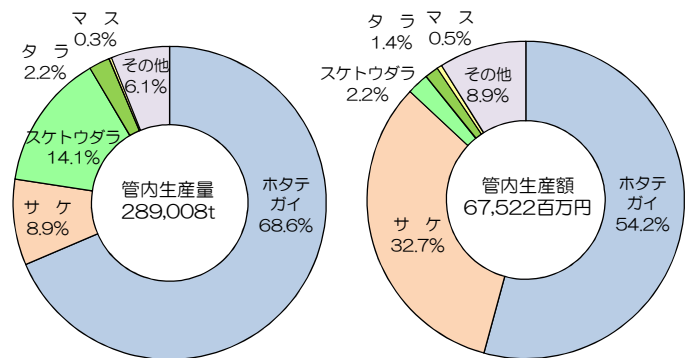
(令和3年水産現勢)

## ■管内の漁業概要

区分	経営体数 (戸)	就業者数 (人)	漁港数 (港)	港湾数 (港)	漁船数 (隻)
管内	805	3,162	第1種 11 第2種 6 第3種 0 第4種 4 計 21	2	2,044
全道	11,089	24,553	第1種 167 第2種 38 第3種 18 第4種 20 計 243	41	22,608

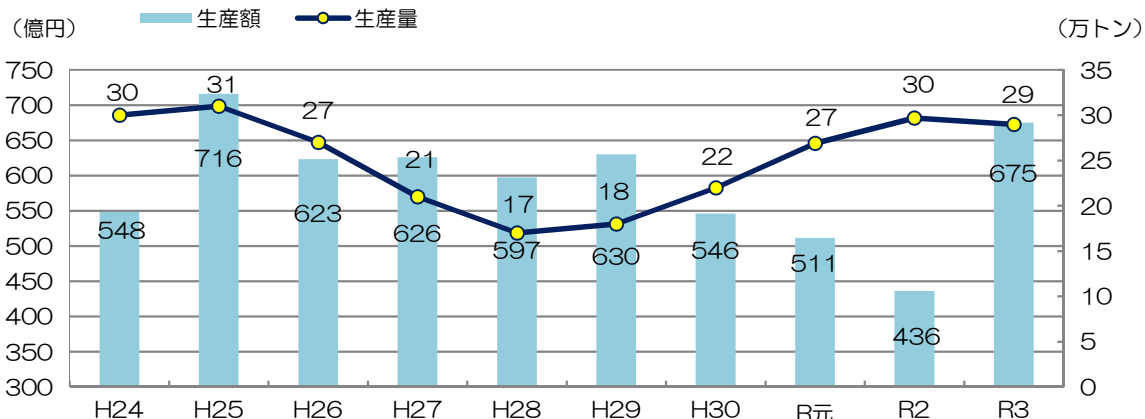
(2018年漁業サンセス、北海道の漁港一覧(令和4年4月1日現在)、北海道漁船統計表(令和3年))

## ■管内主要魚種の生産量・生産額構成比（令和3年）



(令和3年北海道水産現勢)

## ■漁業生産額・生産量の推移



(令和3年北海道水産現勢)